



く る め し り つ み づ ま し ょ う が っ こ う が っ こ う
久留米市立三潴小学校 学校だより

だい 第 6 号
が かつ かい

れい わ ねん 10 月 5 日
令 和 3 年 10 月 5 日
こ う ち ょ う 後 藤 真
校 長 こと う ま と
じ ど う す う 数 4 8 1 名
児 童

ぎんなん

仲間と絆を深め、やりぬいた運動会

「みんなと頑張れたので優勝できた。支えてくれてありがとう」(白組岩下団長の感想から)

「みんなの気持ちがこもって、団員が一つになり、絆が深まった」(赤組平野団長の感想から)



< 6年 Super Run >



< 白組応援団のエール >



< 赤組応援団のエール >



< 6年 Super Shine☆ >



< 4年 Enjoy dancing! >



< 5年 Wataridori ~心に羽ばたいて~ >



< 3年 よさこい みづま >



< 1年 炎~ほむら~ >



< 2年 メラ・メラ・メラ >

10月2日(土)、運動会に際し、保護者の皆様のご参観とあたたかいご声援をいただきありがとうございました。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、低・中・高学年ごとの3部制での開催、時間短縮となりましたが、皆様には、最後までご協力をいただき感謝申し上げます。また、運動会開催に当たり、当日の受付やテントの後片付けなど、保護者の皆様のご支援のおかげでスムーズに、そして思い出に残る運動会となりました。

子ども達は、「仲間と絆を深めてやりぬこう」をスローガンに掲げ、赤組・白組それぞれが、チーム一丸となって「元気」「笑顔」「やる気」をもってやりとげました。9月の短縮授業、そして3密を避けての短期間の練習でしたが、一人ひとりが演技に対し、真剣に取り組んでいる姿に感動しました。さらに、高学年を中心にリードしていく姿は頼もしく感じました。

ぜひ、運動会で身に付けたチームでやりとげる力を、これからの学習や生活に生かしていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様、今後とも子ども達へのご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

加えて、写真のように、運動会前々日の夕刻、地元の久留米市消防団第41分団（三潴校区の消防団）の皆様のご厚意で、運動場に散水をしていただきました。おかげで当日は、子ども達にとって最高のグランドコンディションの中で演技を繰り広げることができました。地元の消防団の皆様、



ありがとうございました。

＜地元消防団の皆様による散水の様子＞

学びを止めないコロナ禍でのオンライン学習

緊急事態宣言下の9月6日から30日まで、オンラインの学習を5校時に行いました。4、5、6年生各クラス（22日からは3年生も加わりました）の担任と下校後、家庭や学校にいる子ども達とを結んで行いました。国語や算数をはじめ、音楽や図工など幅広い学習に取り組みました。特に、音楽のリコーダーの演奏が学校ではできない中、オンラインをつないででの家庭での学習が、可能になりました。学びを止めない学習は、工夫しながら取り組んでいきます。今後とも、ご家庭でのご支援もよろしくお願いいたします。

＜学び合い、高め合うコーナー＞（あいさつ・歌声・読書）

本年度の三潴小の合言葉は「学び合い 高め合う」です。特に、三潴小の心を響かせる3つの約束「あいさつ」「歌声」「読書」の取組に力を注いでいます。

今回は、読書について図書司書の永田先生からのメッセージを紹介します。

子ども向けの本を児童書と呼びますが、本来読書には年齢のくくりはありません。

大人が読むような分厚い本を読みこなす子どももいますし、絵本など字の少なめの本でイメージを膨らませる方が好きな子どももいます。図鑑などの実用書が大好きな子どももいます。子ども達の「読みたい」という好奇心を、子ども達のペースに合わせて、いろいろな本で広げていけたらいいな、と思っています。

図書室にも、年齢を問わず楽しめる本がたくさんあります。絵本では『わすれられないおくりもの』や『100万回生きたねこ』など、心を打つ物語があります。ドラマや映画になった『精霊の守り人』『ゲド戦記』『ナルニア国物語』『魔女の宅急便』などは、映像でも楽しめますし、原作を読むと新たな発見や後日談などもあるのでおすすめです。

大人も読める名作は、家族で読書するのにぴったりですね。

秋も家族で読書を楽しんでみませんか。



＜図書館の新刊の紹介＞